

## 平成24年度要望活動

平成25年1月28日、新座市、清瀬市、所沢市及び練馬区で構成する「都市高速鉄道12号線延伸促進協議会」（会長：須田健治新座市長）は、地下鉄12号線（都営大江戸線）の導入空間となる都市計画道路補助第230号線の早期の整備と、同鉄道の光が丘駅からJR武蔵野線東所沢駅までの間の一体的かつ早期の整備着手について、東京都に対し要望を行いました。

飯尾東京都都市整備局長から、「都市計画道路補助第230号線については、引き続き整備促進を図っていきたい。また、地下鉄12号線の延伸について、光が丘から大泉学園町までについては、（地下鉄12号線の）導入空間となる補助第230号線の整備状況などを踏まえ、関係機関と一体となって、採算性を含めた事業化についての検討を引き続き進めていく。大泉学園町から先の延伸については、多額の事業費の確保や整備主体の問題のほか、特に需要確保の観点等から、沿線開発の推進など地元自治体の積極的な取組が必要であると考えている。こうした課題の克服に向けて、互いに協力しながら促進していきたい」とのコメントを頂きました。

協議会では、地下鉄12号線が早期に延伸されるよう、今後とも積極的に活動していきます。

### 東京都への要望



平成25年1月10日、新座市、清瀬市、所沢市及び練馬区で構成する「都市高速鉄道12号線延伸促進協議会」(会長：須田健治新座市長)は、地下鉄12号線（都営大江戸線）の光が丘駅からJR武蔵野線東所沢駅までの間の延伸について、埼玉県知事に対し要望を行いました。

上田知事からは「沿線自治体の人口は、(前回の運輸政策審議会答申が示された)平成12年当時よりも増加している。今後も土地区画整理事業などを通じて、鉄道の利用客を確保する仕組みづくりを進めていかなければならない。県としても、要望に沿えるようにしっかり頑張っていきたい」とのコメントを頂きました。

協議会では地下鉄12号線が早期に延伸されるよう、今後とも積極的に活動していきます。

### 埼玉県への要望

